

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 19日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県裾野市須山字平垣1220-19

氏名 株式会社 不二家 富士裾野工場

大町 諭

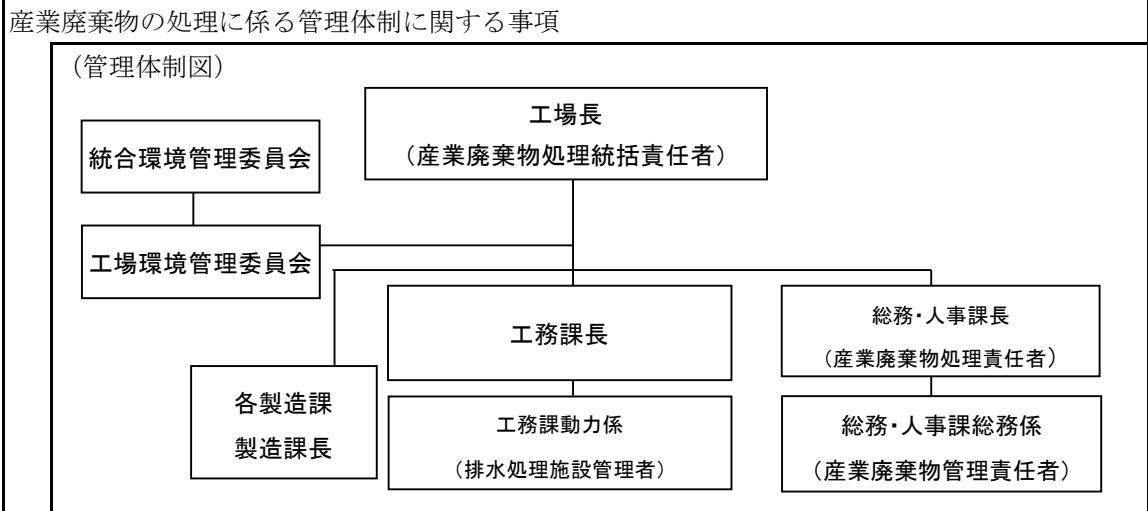
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 055 - 998 - 1800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 不二家 富士裾野工場		
事業場の所在地	静岡県	裾野市	須山字平垣1220-19
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	食料品製造業		
② 事業の規模	116億9027万円		
③ 従業員数	275名(正社員158名、その他の従業員117名)		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	菓子製造 → 廃棄物発生 → 処理委託 ※委託内容：動植物性残さ(飼料化、焼却) 廃油(中和) 廃プラスチック類(固形燃料化、埋立) ガラス・陶磁器屑(焙焼、埋立) 金属屑(再資源化) 排水処理 → 汚泥発生 → 脱水 → 処理委託 ※委託内容：汚泥(肥料化)		

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	1,795.900 t
	動・植物性残渣	500.200 t
	廃プラスチック類	57.200 t
	金属くず	28.600 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	5.100 t
(これまでに実施した取組) ・設備改善による工程ロスの削減。ライントラブル防止対策の実施。 日々のロス発生状況を把握し、発生要因分析を行い、ロス削減に取り組んだ。定期的な機械教育の機会を設け従業員の力量向上をはかり、トラブル予防対策実施やトラブルへの早急な対応がロス削減に繋がった。 (動植物性残渣、廃プラスチック類) ・生地の還元を行った。(動植物性残渣)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	1,700.000 t
	動・植物性残渣	490.000 t
	廃プラスチック類	55.000 t
	金属くず	26.000 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	4.000 t
(今後実施する予定の取組)		

- ・製造課を中心にロス削減プロジェクトを立ち上げて削減に向けて取り組みを進める。汚泥発生量の安定のために、脱水機の運転時間を一定に保ち、減量を目指す。排水設備の点検を繰り返し、安定稼働と減量を目指す。（汚泥）
- ・引き続き設備改善及び設備更新による工程ロスの削減。ライントラブル防止対策の実施。教育を繰り返し行い、従業員の力量を上げ、人的ミスをゼロにする。（動植物性残渣、廃プラスチック類）

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、動植物性残渣、廃プラスチック、金属くず、ガラス、陶磁器はそれぞれに分別、保管を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量

①現状	汚泥（泥状のもの）	0.000 t	1,621.600 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
	汚泥（泥状のもの）	0.000 t	1,600.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	【前年度（令和 5年度）実績】				
	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
汚泥（泥状のもの）	0.000	174.300	0.000	0.000	174.300

①現状	動・植物性残渣	0.000	483.900	0.000	16.200	500.100
	廃プラスチック類	0.000	49.600	0.000	0.000	49.600
	金属くず	0.000	28.600	0.000	0.000	28.600
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	5.100	0.000	0.000	0.000	5.100
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>・静岡県産廃協会や弊社グループ（本社・他工場等）の情報を参考に、より高度なリサイクル処理が可能な産廃処理業者を選定している。</p>					

【目標】		産業廃棄物の種類				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
②計画	汚泥（泥状のもの）	0.000	171.000	0.000	0.000	171.000
	動・植物性残渣	0.000	480.000	0.000	0.000	480.000
	廃プラスチック類	0.000	47.000	0.000	0.000	47.000
	金属くず	0.000	26.000	0.000	0.000	26.000
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	5.000	0.000	0.000	0.000	5.000
	(今後実施する予定の取組) ・静岡県産廃協会や弊社グループ（本社・他工場等）の情報を参考に、より高度なりサイクル処理が可能な産廃処理業者を選定する。 ・定期的に委託処理業者の処理状況の現地確認を確実に実施し、適正処理が行われているか確認する。					
	※事務処理欄					

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。